

2026年度一般社団法人四国ツーリズム創造機構 理事会・社員総会・全体会議を開催

【ブランディング】

6月2日（火）、当機構の2026年度理事会・社員総会・全体会議を開催いたしました。

例年、全会員の皆さまが一堂に会して開催する会議でございますが、今年度は台風6号の接近に伴う交通機関等への影響を踏まえ、急遽、対面とオンラインを併用するハイブリッド形式に変更して開催いたしました。

理事会と社員総会では、共通の議題として、「2025年度事業報告（案）及び決算報告（案）」（第1号議案）と「2026年度事業計画（案）及び収支予算（案）」（第2号議案）について、理事会ではこれらに加えて「会員の新規入会（案）」（第3号議案）について、事務局から説明を行った後、ご審議のうえ、いずれも原案のとおりご承認いただきました。また、社員総会では、去る3月にご承認いただきました「第6次四国観光交流戦略」について、最新の統計結果などを反映したKPI等の確定をご報告いたしました。

全体会議では、賛助会員の皆さまをお迎えし、理事会と社員総会の議決を踏まえ、「2025年度事業報告及び決算報告」をご報告し、今年度が計画初年度となる「第6次四国観光交流戦略」をご説明するとともに、「2026年度事業計画（案）」（第1号議案）を原案どおりご承認いただきました。

会議終了後には、会員の皆さま相互の交流の場としてレセプションを開催し、ご来賓として、香川県知事 池田 豊人 様にご臨席いただきました。

この度は直前での開催方法の変更や、大変足元の悪いなかご出席いただくなど、皆さまにはご不便をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。引き続き、当機構では、皆さまのご期待にお応えできるよう、四国ブランドの拡大と四国への誘客促進に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

開 催 日	2026年 6月2日(火)
実 施 場 所	JRホテルクレメント高松（香川県高松市）
出 席 者	106団体（オンライン参加を含む）
来 賓	四国運輸局長 田村 顕洋 様、 香川県知事 池田 豊人 様
機 構 出 席 者	半井代表理事、桑村本部長 ほか15名



<会議の様子>



<レセプションの様子>



<池田香川県知事の挨拶>

四国一体PR・新キャッチコピー＆ロゴを四国 4 県知事会で発表

【ブランディング】

この度、四国 4 県と当機構では、四国一体となった観光振興と「四国ブランド」の拡大を目指して、新たなキャッチコピーとロゴマークを制作し、6 月 5 日（金）に、徳島県鳴門市で開催された四国 4 県知事会に併せて、後藤田徳島県知事、池田香川県知事、中村愛媛県知事、濱田高知県知事と、当機構半井代表理事が、共同で新キャッチコピー等を発表しました。

また、発表に併せて、四国を一体的に紹介する特設サイト「しあわせ、まるっと 四国 | 四国観光特設サイト」を公開しました。

<キャッチコピー＆ロゴ：上…国内版（横型）、下…海外版（横型）>



しあわせ、まるっと四国

— 巡るほどに、ひとつになる。—

SHIKOKU JAPAN

SHIKOKU
Ring of Unity

SHIKOKU JAPAN



<四国 4 県知事・代表理事発表の様子>

今回、発表した国内版のキャッチコピーにある、「しあわせ」という言葉は、四国を訪れる人が感じる、旅の「ふとした瞬間に感じる幸福感」を表現するとともに、四国 4 県が一体となる姿を重ね合わせた「四（し）合わせ」や、「四季」「歴史」「自然」といった多彩な四国の姿を表しています。また、「まるっと」という言葉には、4 県を「ひとつの輪で包み込む」イメージや柔らかな響きとともに、循環や温かさ、「おもてなしの心」を表現しています。一方、海外版の「Ring of Unity」には、海外からの旅行者に向けて、四国 4 県の「強い絆と一体感」、「周遊旅」への期待感、「お遍路」を代表する伝統と精神性、旅行者への「開かれた姿勢」といったインプレッションが想起されることを意図しています。

皆さまにおかれましては、新キャッチコピーとロゴマークの趣旨をご理解いただき、四国一体となったプロモーションの展開に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、会員の皆さまには、新ロゴマークのステッカーシールを送付させていただいておりますが、追加や各種ポスター類の送付をご希望の場合は、下記 QRコードからお知らせください。

特設サイト



送付希望



ロゴ・ポスターのデータは
こちらから
ダウンロードいただけます



【発表会】

開	催	日	2026年6月5日(金)		
実	施	場	所	アオアヲナルトリゾート（徳島県鳴門市）	
出	席	者	後藤田徳島県知事、池田香川県知事、中村愛媛県知事、濱田高知県知事		
機	構	出	席	者	半井代表理事、桑村本部長　ほか4名

「第6次四国観光交流戦略」及び「2026年度事業計画」をプレスリリース

【ブランディング】

6月9日（火）、新たに策定した「第6次四国観光交流戦略」と「2026年度事業計画」を各種メディアに向けてプレスリリース（※）しました。

サンポートホール高松で開催した記者発表では、10社11名の記者の皆さまにご出席いただき、事務局から戦略と事業計画の説明を行いました。質疑応答では、今年度新たに実施する、インバウンドを想定し、ハラルやヴィーガンなど四国での食の多様化への対応促進に向けた調査事業や、四国一体PR新キャッチコピー等を活用したプロモーションに関する質問をいただきました。

※ 記者発表のほか、PRTIMESを通じて各種メディアに発信。

開 催 日	2026年 6 月 9 日(火)
実 施 場 所	サンポートホール高松54会議室（香川県高松市）
出 席 者	朝日新聞社、香川経済レポート社、観光経済新聞社、KSB瀬戸内海放送、高知新聞社、交通新聞社、四国新聞社、徳島新聞社、日刊工業新聞社、日本経済新聞社 計10社
機 構 出 席 者	半井代表理事、桑村本部長 ほか13名



<記者発表の様子>

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク第13回会議の開催

【ブランディング】

6月16日（火）、香川県高松市で、当機構が事務局を務める「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク第13回会議」を開催し、ネットワークの新体制、今年度事業の実施予定、KPIの進捗状況について説明を行ったほか、事例紹介や各会員団体の取組内容等の情報共有を行いました。

事例紹介では、丸亀市より「丸亀市 持続可能な観光地域づくりにおける世界評価」をテーマに、持続可能な観光の国際認証団体「グリーン・デスティネーションズ（GD）」が実施する「Green Destinations Top 100 Story Awards Awards ITB Berlin 2026」において世界第2位を受賞した取組や、GDが地域を表彰するアワード（GDアワード）でシルバーアワードを受賞した取組について紹介いただきました。

また、会議後半では、会員22団体より2026年度の活動計画や持続可能な観光の取組状況、国際認証やJSTS-Dロゴマーク使用許諾の取得状況などについて情報共有を行うとともに、四国運輸局から観光庁補助事業等に関する情報提供をいただきました。さらに、サステナブルツーリズムの視点で、地域で受け継がれてきた祭りに携わる人に焦点をあてて当機構が制作した動画や、新たに策定した四国一体PRキャッチコピー「しあわせ、まるっと四国 一巡るほどに、ひとつになる。」及びロゴマークについて紹介しました。

また、会議の一部をプレス公開し、3社のメディアに取材いただきました。

次ページに続く

開催日時	2026年6月16日(火)14:00～16:30
実施場所	かがわ国際会議場（香川県高松市）
参加者	ネットワーク会員22団体 アドバイザー：四国運輸局 オブザーバー：愛媛県、高知県、(株)阿波銀行、(株)百十四銀行、(一社)内子町観光協会、東かがわ市、せとうち観光専門職大学
機構出席者	半井代表理事(代表幹事)、桑村事業推進本部長(幹事)、伊藤統括副本部長、松本チームマネジャー(事務局長)、多田マネジャー(担当)ほか3名



＜ネットワーク会議の様子＞

「ジューンと四国！しこくるフォトコンテスト」(夏・秋) 開催中！！

(ブランディング)

当機構では、7月1日（水）から12月10日（木）の期間中、「ジューンと四国！しこくるフォトコンテスト」(夏・秋)を開催中です。昨年度、四国内のクールなスポットにスポットを当ててデジタルスタンプラリーやハッシュタグキャンペーンを実施した「キーーンと四国！しこくる」キャンペーンですが、今年度はフォトコンテスト形式で実施します。

本キャンペーンを通じて、「夏」と「秋」の四国の魅力が詰まった写真を募集するとともに、受賞作品を使用した「フォトブック」を制作することで、今後の四国の観光PRツールに活用していきます。

【概要】

■募集テーマ／応募期間

＜夏期＞ 四国の夏 海・山・青空・涼など、
夏らしい風景や瞬間が伝わるもの

募集期間：2026年7月1日（水）～9月30日（水）

＜秋期＞ 四国の秋 紅葉・実り・夕景など、
秋らしい風景や瞬間が伝わるもの

募集期間：2026年10月1日（木）～12月10日（木）

■賞品

応募作品の中から受賞作品を選定（全6種）

詳細は、キャンペーンページをご覧ください。
皆さまからの多数のご応募を心よりお待ちしております。

また、キャンペーン広報について、ご協力の程どうぞよろしくお願いします。



特設サイトは
こちら



ポスター広告バナーの
ダウンロードはこちら

「令和8年度 四国ブロック観光情報交換会」の開催

【マーケティング】

6月16日（火）、東京都で、四国観光物産首都圏連絡協議会（※）と当機構の共同により「令和8年度 四国ブロック観光情報交換会」を開催し、都内のメディア関係者の方々にお集まりいただき、四国の最新トピックスや各団体の取組などの紹介を行いました。

当機構からは、四国一体観光プロモーションや四国の魅力発信事業の紹介のほか、持続可能な観光への取組、四国観光・旅アプリ「しこくるり」について情報発信を行いました。

引き続き、同協議会と連携し、首都圏に向けた四国の情報発信に努めていきます。

※四国4県の東京事務局を構成員とし、四国旅客鉄道（株）東京統括本部、本州四国連絡高速道路（株）東京事務所、当機構がオブザーバーとして参加する協議会。

開催日時	2026年6月16日(火) 10:00～12:00
実施場所	都道府県会館（東京都千代田区）
メディア出席者	都内のマスメディア等24社32名
機構出席者	長谷部チームマネジャー、寒原マネジャー



＜情報交換会の様子＞

2026年度 四国JALパック会定期総会・情報交換会に出席

【マーケティング】

6月30日（火）、愛媛県松山市で、2026年度 四国JALパック会定期総会・情報交換会が開催されました。

冒頭、今年4月に就任したJALパックの大村剛也代表取締役社長からの挨拶で、2026年度の上期の状況についての報告がありました。また四国JALパック会の宮崎会長からは、四国への誘客促進を更に進めていくうえで、「行きたくなる地域」、「行きやすい場所」にしていくことが必要であり、航空会社及びジャルパックと地域関係者とのとのより一層の情報共有・連携が重要であるといった発言がありました。

開催日時	2026年6月30日(火)
実施場所	ホテル椿館（愛媛県松山市）
機構出席者	桑村本部長、松本チームマネジャー



＜定期総会の様子＞



＜情報交換会の様子＞

第 1 回四国広域連携観光戦略会議の開催

【マーケティング】

6月3日（水）、「第1回四国広域連携観光戦略会議」を四国運輸局とオンライン形式で共同開催しました。

本会議は、四国エリアにおける中長期的な「広域連携観光戦略」の策定に向け、多様な関係者との合意形成や連携体制を構築するキックオフの場とすることを目的に実施いたしました。

会議では、観光庁より「第5次観光立国推進基本計画」や地方におけるインバウンド誘客促進の方向性、観光コンテンツ調査事業の成果等について説明が行われたほか、本会議の運営基盤となる規約が原案どおり承認されました。

当機構からは、今年度からスタートした「第6次四国観光交流戦略」について説明するとともに、広域連携観光戦略の正式版策定に向けた今後のスケジュール予定等について共有いたしました。

今後、最終的な広域連携観光戦略策定のため、関係事業者からの意見聴取及び合意形成に向けて、引き続き取り組んでまいります。

開催日時	2026年6月3日(水) 14:00～16:00
実施形式	オンライン形式
参加者	観光事業者、自治体関係者、四国経済連合会、観光庁など約50名
機構出席者	桑村本部長、伊藤統括副本部長、竹内チームマネジャー、清水CMO、長山マネジャー、三好マネジャー

「へんろの里」遍路案内所開所披露式に出席

【その他】

6月23日（火）、徳島県吉野川市の藤井寺門前に開設された「へんろの里」遍路案内所の開所披露式に出席しました。本施設は、合同会社遍路イレブンが国等の補助金や多くの支援を受けて開設した、外国人遍路対応の中核拠点となる施設です。近年急増する外国人遍路への案内やコンシェルジュ機能を備えており、交流を通じたデータの収集・分析、ウェブ上の宿泊予約システムの構築などを通じて四国遍路における観光インフラの課題解決を目指しています。

当日は、開所披露式典が執り行われたほか、各方面の識者を交えたパネルディスカッションや施設内覧会、関係者間での今後の取り組みについての紹介や意見交換が行われました。また当機構のDMPIに格納されているお遍路データに関するお話もさせていただきました。



<披露式の様子>

次ページに続く



＜遍路案内所の様子＞

開催日時	2026年6月23日(火) 10:00～12:00
実施場所	へんろの里（徳島県吉野川市）
出席者	吉野川市市長 原井敬氏 国土交通省四国運輸局観光部長 上戸康弘氏 徳島県観光スポーツ文化振興課文化資源活用室長 櫻木大介氏 徳島県会議員 岡田晋氏 (一社)四国八十八ヶ所霊場会 会長 海老塚和秀氏 NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク理事長 半井真司氏 四国経済連合会 常務理事 濱田有一氏 ほか85名
機構出席者	清水CMO

今月のオウンドメディア等

【清水CMOからの情報】

今月は、近年急速に進化をしているAI関連ニュースの中から、今後のインバウンド観光にどのような変化をもたらすか予測してみます。

【ChatGPTを利用して消費者が購買を行う業界（2026年6月時点）】

※出典：米First Page Sage社（世界銀行・PwC等の公開データを集計）

順位	業界	購入プロセスにおいてChatGPTを利用している顧客の割合	ChatGPTの業界別推定影響額
1	旅行・ホスピタリティ	47%	1兆4800億ドル
2	小売・消費財	36%	1兆1100億ドル
3	ITサービス	34%	9360億ドル
4	ライフスタイル、健康、ウェルネス	32%	8910億ドル
5	食品・飲料	32%	5460億ドル

観光業界にとってAIは無視できない存在。

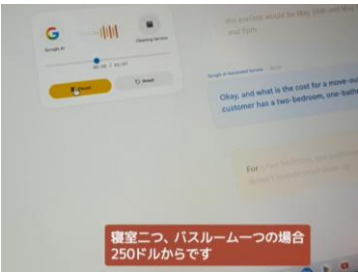
【AIを使う旅行者の利用率】（2025年8月） Phocuswright『Search Slips, AI Surges: Travel's New Front Door?』

2025年8月のレポートによると、アメリカ人旅行者の33%がAIを利用した経験、あるいは積極的に利用しているとの報告があり、さらに、[2026年3月の続編記事](#)によると、アメリカ人旅行者の56%が、過去12ヶ月間にAIを利用したと報告があり、利用率が急増しています。

また、レポートには、「AIは好奇心の対象から実用的な対象へと移行した」との記載もあります。

近年、旅行者のAI利用も急激に増加している。

【創業以来で最大の変革】Google CEO「ただの“出発点”」「Gemini Spark」は24時間無休で働くAIエージェント【AI QUEST】※YouTube「TBS CROSS DIG with Bloomberg」へ遷移します。



YouTubeへ遷移します。

ネットにない情報は、AIが店舗に電話

店舗との通話は録音され、
ユーザーにフィードバックされる

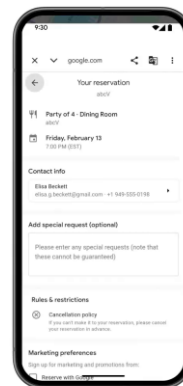
【AIエージェント（自律型AI）は四国内観光事業者にもチャンス】

上記動画では、GoogleのAIエージェントが利用者に代わり、ネットにない料金を業者へ電話で確認する様子が紹介されています。米国で実際に提供中で近い将来、海外の旅行者が母国語で「四国の〇〇を予約して」と頼めば、AIが日本語で現地の店舗へ直接電話。店舗側は日本語で受けるだけで、世界中のインバウンド客を迎えられる時代が予想できます。

レストランなど事業者にも、言葉の壁・人手不足の解消という大きなメリット。

【GoogleマップがAIに：「Ask Maps」でハラル・ヴィーガン店も探しやすい】

2026年3月、Googleマップに、AIと会話しながらお店を探せる「Ask Maps」が登場し、米国・インドから展開されています。AIはGoogleビジネスプロフィール（GBP）の登録情報やメニュー・口コミを読んで回答するため、ハラルやヴィーガンなどの対応記載のある店が旅行者に提案されます。



① 会話しながら好みを把握し条件を質問
（「ヴィーガン」とは入力していない）

② AIが好みを踏まえ
ヴィーガン店を提案（GBP・口コミを参照）

③ そのまま予約画面へ
（4名・金曜19時で完結）

出典：Google公式ブログ（2026年3月12日）

【近い将来のインバウンド対応（イメージ）】



【Googleビジネスプロフィール（GBP）と公式サイトがAI時代に効果的】

今回はレストランの事例をあげましたが、飲食店以外にも宿泊施設やアクティビティ事業者などにもAI検索の普及により、従来の構造が大きく変わる可能性があります。生成AIは、OTAの枠組みよりも、公式サイトにある独自の体験内容やローカルなこだわりといった「一次情報」を優先的に取得します。そこで重要になるのが「Googleビジネスプロフィール（GBP）」との正確な連携です。多額の広告予算がなくても、GBPを正確に整備し、自社サイトの魅力を文字情報で記載しておけば、AIが世界中の旅行者へ「おすすめ」として直接提案し、公式サイトでの直予約に繋がる時代が予想できます。OTAへの手数料が発生しないため、域内消費の最大化も期待できます。

AIの普及により、GBPと公式サイトの重要性はますます高まっている。

当機構では、ハラル・ヴィーガンなどの食の多様化に向けた飲食店整備にも取り組んでおり、引き続き外国人誘客に取り組んでまいります。

当機構のメンバー 1 名が退職しました

6月末をもちまして四国ツーリズム創造機構を退職する太田昌子です。

多くの方々に支えていただき、業務を無事に終える事ができました。

会員の皆様と直接お会いする機会は、あまりございませんでしたが、毎月、皆様に四国ツーリズム創造機構の活動内容をお知らせする、「活動レポート」の送信は、私にとりまして大変重要な仕事でございました。

四国の魅力発信に関わる事のできました8年間は、充実した時間であり、私にとって大きな財産となりました。今後は個人で、四国を応援してまいります。

最後になりましたが、皆様の更なるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。長い間大変お世話になり、ありがとうございました。

新メンバーを紹介します

この度、入構いたしました土居と申します。

前任者からの業務を確実に引き継ぐとともに、これまでの国際交流や英語でのコミュニケーションを活かし、四国の魅力を広く発信できるよう努めてまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



マネジャー 土居美紀

代表理事の主な動静

6月1日（月）四国・地方創生講演会

2日（火）2026年度理事会・社員総会・全体会議

3日（水）徳島文理大学高松駅キャンパス公開講座（未来デザイン論）

5日（金）四国一体PRキャッチコピー発表会

四国地域広域リジョン連携宣言式

四国の4県知事と経済団体代表者による懇談会

9日（火）定例会議・推進会議（当機構の会議）

2026年度事業計画に係る記者発表

16日（火）四国「持続可能な観光」推進ネットワーク第13回会議



後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年 4月29日(火) ～2027年 3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html
四国コンテンツ映像フェスタ2026	四国総合通信局、 四国情報通信懇談会	2026年 4月24日(金) ～12月(予定)	https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/
周遊スタンプラリー「四国巡りんく」	本州四国連絡高速 道路株式会社	2026年 5月25日(月) ～2027年 1月31日(日)	参考(2025年度公式サイト) : https://www.love-setouchi.jp/megulink2025/
第 7 回 SB Student Ambassador 四国ブロック大会	SB Student Ambassador 四 国ブロック大会 事 務局	2026年 6月12日(金) ～11月 7日(土)	https://www.sbsa27.com/

7月以降の主な予定表

区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マーケティング (国内)	JAL麗うか四国キャンペーン (4月～10月)			ANA誘遊四国キャンペーン (9月～3月)		
		ツーリズムEXPO (9月24日～27日/東京)		四国観光商談会 (10月6日/大阪)	四国インバウンド商談会 (10月14日/東京)	
マーケティング (国際)	ANA誘遊四国キャンペーン 豪州FAMツアー (7月19日～25日 /四国4県)	台湾商談会 (7月14日/台湾)	インバウンド課室長会議 (8月6日/高松市)	VJTM (9月24日～26日/東京) JAL麗うか四国キャンペーン英国FAMツアー (9月8日～14日 /四国4県)	ATWS (9月14日～17日/カナダ)	JNTOマーケット研究会 (9月9日/高松市)
ブランディング	GSTC(サステナブルツーリズム)研修 (7月7日～9日/三豊市)	Greater WEST JAPAN 連携会議 (8月21日/高松市)	第1回意見交換会 (8月26日/高知市)	四国「持続可能な観光」先進地視察 (11月25日～26日/高山市)	四国「持続可能な観光」 ネットワーク会議 (10月29日/内子町)	

(一社) 四国ツーリズム創造機構
事業推進本部 マーケティングチーム 岸本、松本

TEL : 087-813-0434
FAX : 087-813-0312



SHIKOKUTOURISM